

定例記者会見市長挨拶

令和2年6月3日（水）午後3時 第1委員会室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

先月25日に新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が解除されました。市民の皆さまや事業者の皆さまには、感染症拡大防止や本市の対応に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

先週末の表参道では人出が徐々に増えつつあり、また、今週月曜日からは市内の小中学校も再開し、児童生徒が元気に登校しております。

全国的に見ると一部地域では、感染の判明が相次いでいる地域もあり、依然として予断を許さない状況に変わりはありませんが、今後は、感染の拡大防止と同時に、社会経済活動の両立を図っていく新たな段階へ移行することとなります。

そこで、感染拡大防止のために休館・利用制限をしていた施設について、感染状況を踏まえ、再開に向けて段階的に対応してまいります。

また、市民の皆さまの暮らしや事業を守り、活力と安心を取り戻すため、第2弾の市独自支援策を実施いたします。

具体的には、ひとり親世帯や介護サービス事業者など、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けている家庭や事業者を支援するとともに、地域経済の活性化を目的としたプレミアム付商品券を発行するため、独自支援策とその予備費を合わせた9億725万4千円を含む総額18億5千75万7千円の補正予算（案）を調製したところであります。

そして、現在給付を行っている各種給付金の状況についてであります。成田市中小企業等緊急支援給付金が、6月2日現在で、給付決定が2,617件、また、特別定額給付金につきましては、6月1日現在で申請が51,453件、給付決定が17,715件となっております。

次に、7月1日から、キャッシュレス決済を導入いたします。市役所窓口での住民票の写しや課税証明書などの証明書の交付手数料や、急病診療所を受診した際の診療費の支払いに、クレジットカードや電子マネーを使用できるようにいたします。キャッシュレス決済の導入により、窓口の混雑が緩和され、市民の利便性が向上するとともに、現金の受け渡しによる感染リスクを低減することも期待されます。

それでは、6月議会に提案を予定しております案件は、人事案件24件、条例案件12件、契約案件3件、市有財産の取得案件3件、市道路線の廃止及び認定案件各1件、専決処分の承認案件1件、補正予算案件3件と、報告8件でございます。

詳細につきましては、この後「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしく願いいたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。